

木工専用NCルーターの導入による 生産性向上・新分野展開による受注拡大 中津木工株式会社



順調に稼働する木工専用NCルーター



設計図に従い入力するので若手社員でも操作可能



きれいな曲線を描く作業も短時間で量産できる



複雑で精緻を要する加工作業も容易になった



オリジナルの新製品開発も検討している

01 企業情報 profile

会社名	中津木工株式会社
代表者	代表取締役 安藤 憲明
所在地	〒871-0001 大分県中津市新田444番地の1 TEL.0979-22-4161 FAX.0979-22-4651 E-Mail nmsekkei@hyper.ocn.ne.jp(担当 安部 美香)
事業内容	特注家具、建具の設計施工、インテリアデザイン、 店舗デザイン、内装工事、木工事の設計施工
資本金	2,000万円
創業	昭和12年4月 8日
設立	昭和18年8月13日
社員数	25名

02 概要 outline

販路拡大、新規顧客の獲得のためには、あらゆる木材製品の加工や斬新なデザイン、複雑形状の加工への対応ができる設備が必要。加えて、製造コストの削減も必要不可欠となっていた。それら課題を解決するため、NCルーターを導入する。

03 背景・経緯 background

経営環境の厳しさが増すなか、 新規設備の導入に活路を見出す

中津木工株式会社は、まもなく創業80年を迎える老舗の建築・木製家具製造会社である。長年、地場の中堅ゼネコン会社から発注される家具・内装工事に加え、個人客を対象にした住宅改装や造り付け家具、店舗工事等を手がけてきた。その実績は多岐に及び、誠実な仕事ぶりは高く評価されている。

しかし全国チェーンの家具量販店やホームセンター、インターネット販売等が台頭してきたことで、地方の家具・インテリア業者は厳しい経営環境の下に置かれている。これに加えて、原材料の供給体制、内外市場の競争激化、少子高齢化に伴う新設住宅着工戸数の減少等も不安視され、各社とも早急な対応策を迫られている。

同社においても、これら懸念材料を払拭するには至っておらず、これまで培ってきた旧来のデザイン設計ノウハウや生産体制では、質量ともに昨今の顧客が要求するオーダーに対応しきれないのが現実のようである。たとえば最近ではバリアフリー対策で丸みのあるR状のフォルムを多用する設計を要求されるが、複雑な形状になると通常より多くの製作時間を要することになってしまうのである。

中津木工はもともと「技術力と発想力」「推進力と緻密さ」を掲げており、優れた技術を有する職人が揃っている。あらたな設備投資を機に、斬新な提案力と最先端の技術力を磨くことで生産性を向上させていけば、これら課題は解決すると思われる。

そこで同社では、ものづくり補助金を利用して、新規設備の導入を決定した。

04 事業内容 details

木工専用NCルーター導入に伴い 全社的に具体策を掲げて取り組む

中津木工が新しく導入した機械設備は、木工専用のNCルーターである。本機の導入により、複雑形状のデザイン、曲面加工を活かした安全性の高い製品を自在に企画・提案・製作することが可能になる。生産性が向上して価格競争力も強化され、販路拡大に貢献することで事業の安定基盤を構築できる。

同社では導入に伴い、以下の具体策を掲げた。

- ①斬新なデザインを有した家具製作
- ②複雑なデザイン形状での製品展開

③自社オリジナル製品への活路

④作業時間の短縮によるコスト削減

実施内容として、導入初年度は今まで手加工で製作していた加工材を機械加工に切り替えて作業時間の短縮を行い、外注に出していた加工材の内製に取り組んだ。

2年目となる今期は、機械化による作業短縮と量産型製造体制を整え、現在、主に受注している仕事の作業工程の改善を練り上げているという。

いずれも順調に推移し、徐々に販路拡大に結びつきは始めている。

05 成果 achievement

顧客のオーダーを満たし 高い生産性を築く

木工専用NCルーターの導入により、デイケアサービス等の介護福祉施設や医療関連施設等、安全面を要求されるR型形状の加工製作するオーダーが増えてきた。

従来であれば難度や危険性が高く、熟練工でしか出来なかったR型の手すりや受付カウンター等の製作も若手社員ができるようになり、さらには2～3人で行っていた作業も単独で量産製作ができるようになった。

このように生産性が飛躍的に向上したことで、価格競争力の強化に繋がったという。

06 展望 future

独自製品開発の機運が高まり、 あらたな市場への挑戦も

本事業を機にモチベーションが高まった同社では、医療・福祉関連におけるオリジナル商品の開発・製造に着手し、より付加価値の高い製品づくりを目指していきたいと話している。

大手が出来ない多品種少量生産を手がけ、あらたなニッチ市場を開拓したいと意気込んでいる。

まとめ point

顧客の要望に容易に応えられる新規
設備導入を契機に、生産性の向上と
モチベーションアップへ。